

# 委員会行政視察

議会では、毎年、行政視察を行っています。議員が先進地を視察し、広く見識を深めることにより市政の発展に寄与することを目的としています。

今号では、教育福祉常任委員会、議会の活性化に関する検討会の視察内容を報告します。

## 教育福祉常任委員会

### 石川県能美市 「能美ふるさとミュージアムについて」

教育福祉常任委員会の所管となる新博物館「能美ふるさとミュージアム」の開館前の視察を令和2年9月11日に学芸員の案内のもと実施した。

館内には常設展示室はもとより、ミュージアムギャラリーや特別展示室、こどもミュージアム“のみっけ”、体験棟等が整えられており、文化団体やサークル活動グループ、未就園児から小中学生まで幅広い世代が親しめるようになっている。

収蔵庫は、防火・調湿・調湿設備が施された上で、これまで石川県立美術館に寄託していた石川県指定文化財の「絹本着色白山曼荼羅図」を、能美市が管理できるようになった。博物館の資料保存の責任が果たされる重要な設備である。

常設展示室は、まもなく迎える加賀立国1200年（823年に加賀国が誕生し、能美郡が設置された）の歴史をたどることができ、今後の活用も期待される。

文化財は市民共有の財産であり、その保存と公開は市民が能美市の歴史を知る上での重要な資料となる。多くの方々に親しまれ、賑わいのある博物館運営が期待される。



学芸員の解説を受けている様子

# 議会の活性化に関する検討会

石川県小松市  
石川県白山市

## 「タブレット端末の導入について」

当検討会では、議会のペーパーレス化と議会運営の効率化を目的に、議会におけるタブレット端末の導入を検討している。

導入するタブレット端末や文書共有システム等の選定に係る情報を収集するため、令和2年10月1日に小松市・白山市議会への行政視察を行い、タブレット端末の導入の経緯や使用方法などについて説明を受けた。



小松市議会での操作確認の様子

小松市議会では、平成29年4月よりタブレット端末を導入していた。タブレット端末は画面サイズの大きいApple社の「iPad Pro 12.9インチ」が採用されており、A4サイズの資料がほぼ原寸大で閲覧できることから、資料が見やすいとの印象を受けた。

また、文書共有システムについては「moreNOTE」が導入されており、メモや画面同期、文書検索など使用する上で便利な機能が搭載されていた。

白山市議会では、平成29年6月より導入していた。タブレット端末の持ち出しを前提とした運用をしており、機動性の高いコンパクトな「iPad 9.7インチ」が採用されていた。

また、LTEモデルを使用しており、どこからでも安定した通信が行えることに加え、テレビ会議などへの利活用も検討されていた。

文書共有システムは、小松市議会と同様に「moreNOTE」が導入されていた。



白山市議会での概要説明を受けている様子

両議会において、タブレット端末の運用方法が異なっており、多様な使い方や活用方法があることを改めて認識できた。また、タブレット端末の導入により、ペーパーレス化に寄与していることも確認できた。

なお、当委員会では令和2年9月25日にタブレット端末のデモンストレーションも行っており、今回の行政視察やデモ体験の結果などを踏まえて、どのような端末やシステム等を導入するかを、今後さらに検討していきたい。